

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	自然言語処理学 (渡辺 太郎 (教授))		
学籍番号	2111234	提出日	令和 5年 1月 19日
学生氏名	星野 智紀		
論文題目	忠実性向上のために抽出性を報酬とする強化学習を用いる抽象型要約		
要旨	<p>近年、事前学習済み系列変換モデルを使用することで、流暢性の高い要約を生成することが可能となっている。 しかし、要約生成モデルの出力する要約には、要約元となる原文書に記述される事実とは異なる内容が出力されることがある問題が指摘されている。 これは、原文書に忠実ではない内容が要約中に出現することが原因の一つとして指摘されている。 それを踏まえ、本研究では原文書に書かれている単語列をより多く要約中に出現させることで、原文書の内容に沿った要約を生成可能なモデルを提案する。 具体的には報酬を原文書に対する要約の抽出性とした強化学習を用いて、要約生成モデルが出力する要約の忠実性向上に取り組んだ。 抽象型要約のタスクで使用されることが多いXSumデータセットを用いた実験の結果、出力された要約の抽出性が向上し、忠実性に対する自動評価尺度であるFEQAのスコアと原文書に対する含意が改善されることが確認された。 また、事前学習済み言語モデルを用いた流暢性の評価の結果、生成された要約の流暢性は正解の要約と同程度であり、提案手法は流暢かつ忠実性の高い要約生成モデルであることが確かめられた。</p>		